

QSS-32SD Digitalシリーズ

バージョンアップマニュアル

このたびは、本製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。

本書では、新しいバージョンで対応した新機能の説明を記載しています。

The logo features the text "What's New" in a bold, red, sans-serif font. The word "What's" is smaller and positioned to the left of "New". The text is set against a light blue, rounded rectangular background that has a subtle gradient and a slight shadow effect, giving it a three-dimensional appearance.

1 バージョンアップマニュアル



G090209

新しいバージョンで追加になった新しい機能の紹介や、品質向上項目を、バージョンごとに記載しています。ご覧になりたいバージョンの「+」をクリックしてください。

■ Ver.4→Ver.5について

◆ 機能追加

[☞「追加機能一覧」](#)

2 Ver.4からVer.5について

2.1 追加機能一覧

番号	項目
1	☞「2.1.1 2コマ目以降の画像を1コマ拡大表示するとき、プリント確認のお知らせを表示しないように設定できるようになりました。」
2	☞「2.1.2 アルバムプリントで、画像はめ込み領域が1つのテンプレートを使用する場合、「ジャッジ画面」でプリント枚数を指定できるようになりました。」
3	☞「2.1.3 プリント枚数が最大9,999枚まで設定できるようになりました。」
4	☞「2.1.4 本製品の各種設定データをフロッピーディスク以外のメディアにも保存できるようになりました。」
5	☞「2.1.5 リフレッシュレートの初期化(75Hz)をするかどうか選択できるようになりました。」
6	☞「2.1.6 ネットオーダーモードを使用して受け付けた画像に対して、自動補正を行えるように設定できるようになりました。」
7	☞「2.1.7 オーダーコントローラーでも価格シートプリントを出力できるようになりました。」
8	☞「2.1.8 Rimage社製のCD/DVD書き込み装置を本製品に直接接続して使用するためのオプションソフトを対応しました。」
9	☞「2.1.9 F仕様の「トータル補充量表示」画面で、「補充不足時間」の「クリア」ボタンが表示されないようになりました。」

2.1.1 2コマ目以降の画像を1コマ拡大表示するとき、プリント確認のお知らせを表示しないように設定できるようになりました。

メディアからのプリント時に、「ジャッジ画面」から2コマ目以降の画像を「1コマ拡大表示」画面に切り替えるときに表示されるプリント確認のお知らせを、表示しないように設定できるようになりました。

「1コマ拡大表示」画面の「プリント」ボタンを非表示に設定することで、プリント確認のお知らせを表示しないようになります。

(例)「1コマ拡大表示」画面



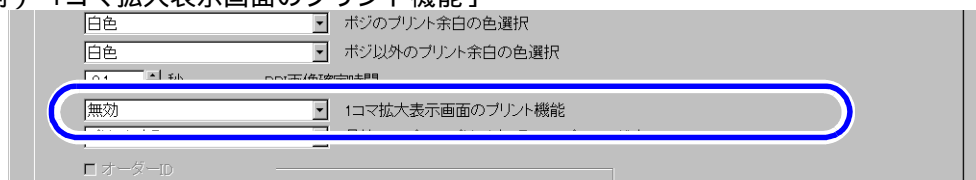
S0250-00-UM03V5

「プリント」ボタンは、1コマ拡大表示時に1度のスキャンングまたは読み込みで、設定を変えて様々なプリントができる機能です。

画面の表示方法

「オーダー画面」で「F」ボタンをクリック “メニュー” “拡張メニュー” “機能選択” “機能選択” 画面で「プリント動作」タブをクリック

(例)「1コマ拡大表示画面のプリント機能」



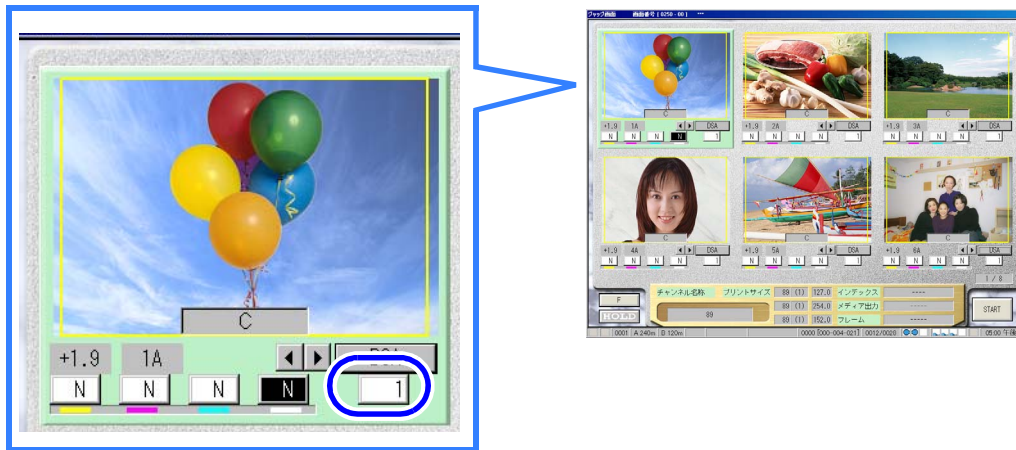
S2000-00-UM01V5

選択項目	内容
無効	「1コマ拡大表示」画面の「プリント」ボタンは非表示になります。 また、メディアからのプリントの場合は、2コマ目以降の画像を1コマ拡大表示するとき、「1522 選択された画像より前のコマのプリントを行ってもよろしいですか?」のお知らせ画面が表示されません。

選択項目	内容
有効	「1コマ拡大表示」画面の「プリント」ボタンは表示されます。 また、全てのプリントで、2コマ目以降の画像を1コマ拡大表示するときに、「1522 選択された画像より前のコマのプリントを行ってもよろしいですか?」のお知らせ画面が表示されます。

2.1.2 アルバムプリントで、画像はめ込み領域が1つのテンプレートを使用する場合、「ジャッジ画面」でプリント枚数を指定できるようになりました。

(例)「ジャッジ画面」



2.1.3 プリント枚数が最大9,999枚まで設定できるようになりました。

エディットモードのタイリングプリントを作成する場合、プリント枚数は最大999枚です。

(例)「オーダー画面」



2.1.4 本製品の各種設定データをフロッピーディスク以外のメディアにも保存できるようになりました。

本製品の各種設定データをバックアップ用として保存するときに使用できる記憶メディアが、フロッピーディスク以外の記憶メディアも使用できるようになりました。

使用できる記憶メディアについて

本製品で使用できる記憶メディアに、以下の条件を追加したものがこの機能で使用できる記憶メディアです。

- フロッピーディスク
 - ・ 3.5型の2HDタイプ (1.44MB形式)
 - ・ MS-DOSフォーマット
- フロッピーディスク以外の記憶メディア
空き容量が1.44MB以上のものを使用してください。
- CD-R/RW
使用できません。

画面の表示方法

「オーダー画面」で「F」ボタンをクリック “メニュー” “拡張メニュー” “保守・調整” “データ書き込み・読み込み”

記憶メディアへのデータの保存[データ書き込み(本体 メディア)]

本製品の各種設定データをバックアップ用の記憶メディアに保存します。あらかじめ記憶メディアのラベル等に日付を記載しておいてください。

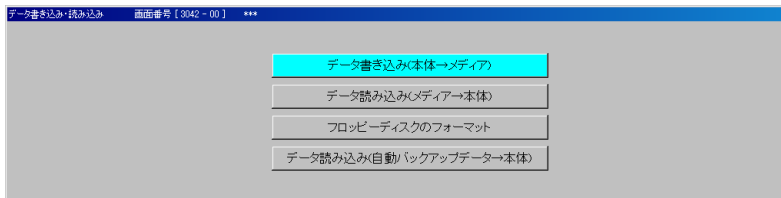
本製品には、適切なプリントを行うための各種設定データ、プリント条件の変動を調節するためのデータが登録されています。

これらのデータは、その後の操作ミスやトラブルの発生などにより失われるおそれがあります。そのため、本製品の各種設定データを変更した場合は、データを記憶メディアに保存してください。

操作方法

- 1. 「データ書き込み・読み込み」画面で、「データ書き込み(本体 メディア)」をクリックします。

「データ書き込み・読み込み」画面

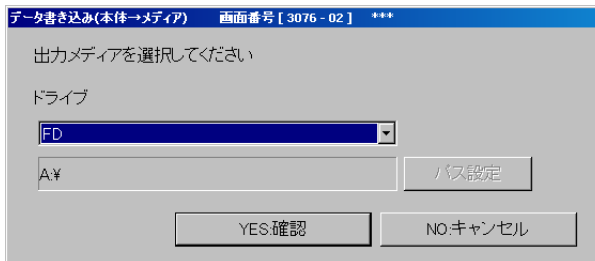


S3042-00-UM05V5

「メディアをセットして[YES]キーを押してください」が表示されます。

- 2. 記憶メディアをドライブにセットします。
- 3. 保存先を指定します。

- (1) 「F:FUNCTIONの機能」ボタンをクリックします。
「FUNCTIONの機能」画面が表示されます。
- (2) 「パス設定」ボタンをクリックします。
ドライブの選択画面が表示されます。
- (3) 保存するメディアを選択します。

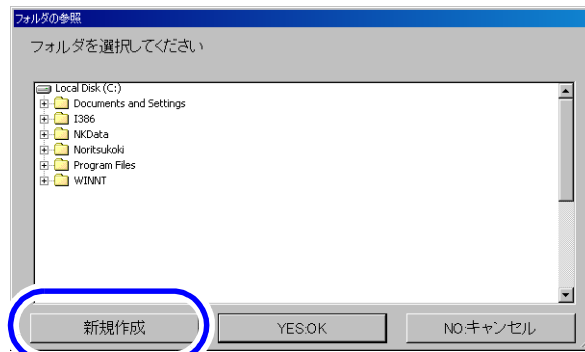


S087476V5

保存フォルダを指定する場合

フロッピーディスク以外の記憶メディアを使用する場合、「パス設定」ボタンをクリックし、保存先のフォルダを指定します。

「パス設定」画面で、保存先のフォルダを選択し、「YES: OK」ボタンをクリックします。



新しくフォルダを作るときは、このボタンをクリックします。
記憶メディアによっては、このボタンは表示されません。

S087530V5

ドライブの選択画面に戻ります。

- (4)「YES:確認」ボタンをクリックします。
データ保存画面に戻ります。

4. 「YES:実行」ボタンをクリックします。

データが保存されます。
データの保存が終わると、「終了しました」が表示されます。

「フロッピーディスク内にファイルが存在しています ファイルを消去してデータを書き込みますか?」が表示されたとき

フロッピーディスクを交換するときは、「NO:いいえ」ボタンをクリックします。
フロッピーディスクを交換せずにデータを書き込むときは、「YES:はい」ボタンをクリックします。

「メディアにファイルが存在しています 上書き保存しますか?」が表示されたとき

記憶メディアを交換するときは、「NO:いいえ」ボタンをクリックします。
記憶メディアを交換せずにデータを書き込むときは、「YES:はい」ボタンをクリックします。

「メディアを正しく認識できません 再度フォーマットを行ってください」が表示されたとき

「YES:はい」ボタンをクリックし、指定したドライブが存在するか確認する、または、記憶メディアのフォーマットを行ってください。

5. 記憶メディアをドライブから取り出します。

取り出した記憶メディアのラベル等に、日付と名称「バックアップ用」を記載しておきます。
以上で記憶メディアへのデータの保存は終わりです。

記憶メディアからのデータの読み込み【データ読み込み(メディア 本体)】

本製品の各種設定データを、バックアップ用の記憶メディアに保存しているデータに書き替えます。
本製品の設定操作を誤った場合など、本製品をバックアップ用の記憶メディアに保存している設定データの状態に戻りたいときに読み込みを行います。



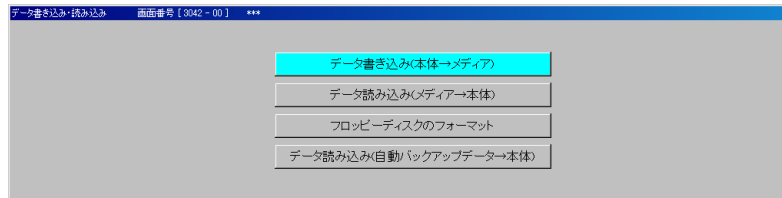
重要

- 読み込みを行うと、本製品はバックアップ用の記憶メディアに保存していた設定データの状態に戻り、それ以前に変更したデータは無効になります。念のために現在のデータを保存してから読み込みを行ってください。

操作方法

1. 「データ書き込み・読み込み」画面で、「データ読み込み(メディア 本体)」ボタンをクリックします。

「データ書き込み・読み込み」画面



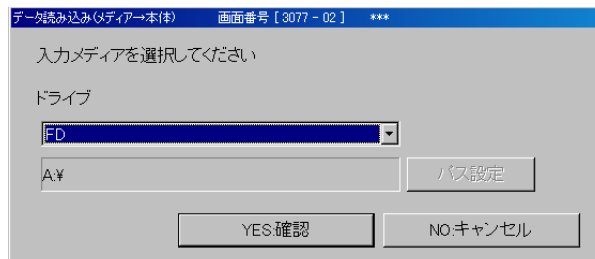
S3042-00-UM05V5

「メディアをセットして[YES]キーを押してください」が表示されます。

2. 記憶メディアをドライブにセットします。

3. 読み込み先を指定します。

- (1) 「F:FUNCTIONの機能」ボタンをクリックします。
「FUNCTIONの機能」画面が表示されます。
- (2) 「パス設定」ボタンをクリックします。
ドライブの選択画面が表示されます。
- (3) 読み込む記憶メディアを選択します。

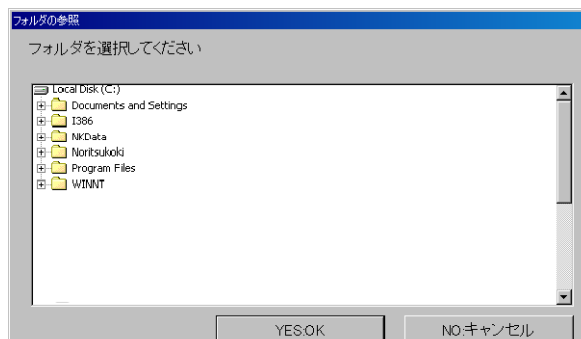


S087528V5

読み込むフォルダを指定する場合

データがフォルダに分けて保存されているときのみ、この作業を行います。

- 「パス設定」ボタンをクリックし、読み込み先のフォルダを指定します。
- 「パス設定」画面で、読み込み先のフォルダを選択し、「YES: OK」ボタンをクリックします。



S087531V5

ドライブの選択画面に戻ります。

- (4) 「YES:確認」ボタンをクリックします。
データ読み込み画面に戻ります。

4. 「YES:実行」ボタンをクリックします。

確認のメッセージ「データを読み込みますか?」が表示されます。

「必要なデータが不足しています フロッピーディスクを交換してください」が表示されたとき

作業を中止するときは、「NO:いいえ」ボタンをクリックします。

読み込み作業を続けるときは、データを保存しているフロッピーディスクに交換して「YES:はい」ボタンをクリックします。

「必要なデータが不足しています メディアを交換してください」が表示されたとき

作業を中止するときは、「NO:いいえ」ボタンをクリックします。

読み込み作業を続けるときは、データを保存している記憶メディアに交換して「YES:はい」ボタンをクリックします。

「メディアをセットしてください」が表示されたとき

記憶メディアをセットし、「YES:はい」ボタンをクリックします。

「メディアを正しく認識できません 再度フォーマットを行ってください」が表示されたとき

読み込みドライブを正しく選択できていない可能性があります。「YES:はい」ボタンをクリックして、ドライブを確認し、選択しなおしてください。

「異なるスキャナーユニットのデータが含まれています 処理を中止します」が表示されたとき

本製品に合ったデータを読み込むようにしてください。

5. 「YES:はい」ボタンをクリックします。

データの読み込みが行われます。

データの読み込みが終わると、「終了しました」が表示されます。

6. 記憶メディアをドライブから取り出します。

以上で記憶メディアからのデータの読み込みは終わりです。

バックアップデータの読み込みをした後は、必ず光源変動補正を実施してください。

2.1.5 リフレッシュレートの初期化(75Hz)をするかどうか選択できるようになりました。

いままでは、本製品起動時にモニターのリフレッシュレート^{*1}の初期化を行い設定を75Hzにしていたが、この初期化を行うか、行わないかを選択できるようになりました。

モニター画面にちらつきがあり、リフレッシュレート^{*1}の設定を変更している場合は、 (チェックなし) にすると、変更した設定のまま、本製品を使用することができます。

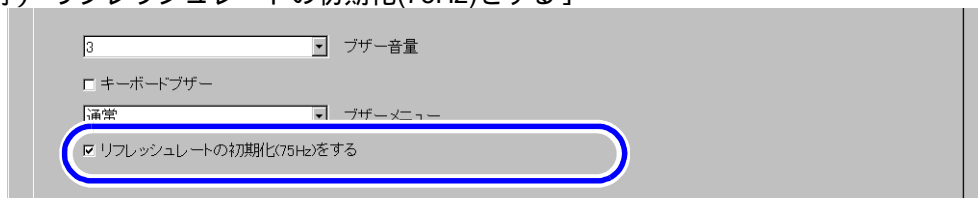
^{*1}. リフレッシュレートとは、モニターが1秒間に画面を書き換える回数です。単位はHzで、リフレッシュレートの設定が60Hzのモニターは、1秒間に60回画面を書き換えます。リフレッシュレートの数値が高いほど、ちらつきを抑えた画面を表示することができます。

この設定は、QSS-Kidsでも有効になります。

画面の表示方法

「オーダー画面」で「F」ボタンをクリック “メニュー” “拡張メニュー” “機能選択” “機能選択”
画面で「表示・操作」タブをクリック

(例)「リフレッシュレートの初期化(75Hz)をする」



S2000-00-UM02V5

選択項目	内容
<input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり)	本製品起動時に、リフレッシュレート ^{*1} の初期化を行い、リフレッシュレートの設定を75Hzにします。(初期設定は <input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり)です。)
<input type="checkbox"/> (チェックなし)	本製品起動時に、リフレッシュレート ^{*1} の初期化を行いません。

*1. リフレッシュレートとは、モニターが1秒間に画面を書き換える回数です。単位はHzで、リフレッシュレートの設定が60Hzのモニターは、1秒間に60回画面を書き換えます。リフレッシュレートの数値が高いほど、ちらつきを抑えた画面を表示することができます。

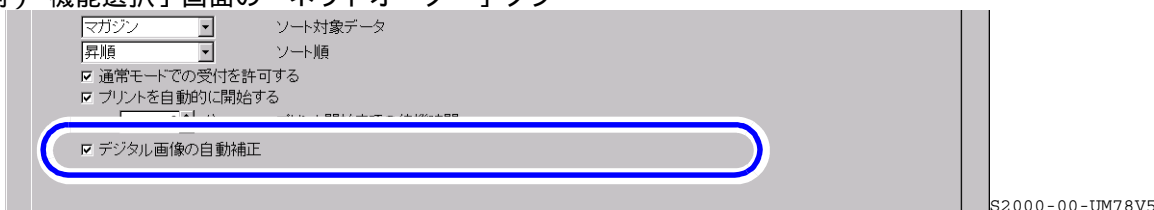
2.1.6 ネットオーダーモードを使用して受け付けた画像に対して、自動補正を行えるように設定できるようになりました。

ネットオーダーモードを使用して、受け付けた画像に対して、自動補正を行うか、行わないかを選択できるようになりました。

画面の表示方法

「オーダー画面」で「F」ボタンをクリック 「メニュー」 「拡張メニュー」 「機能選択」 「機能選択」画面で「ネットオーダー」タブをクリック

(例)「機能選択」画面の「ネットオーダー」タブ



S2000-00-UM78V5

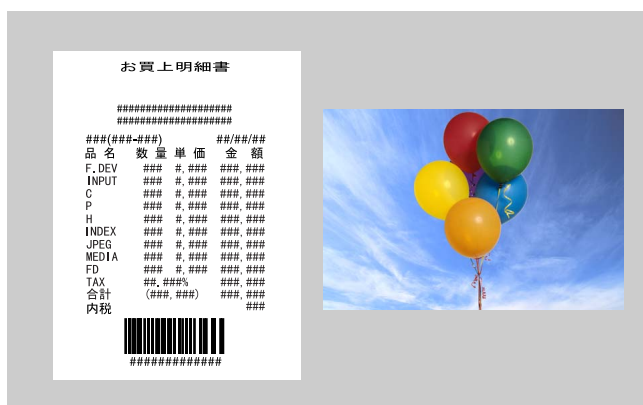
選択項目	内容
<input type="checkbox"/> (チェックなし)	受け付けた画像に対して、自動補正を行いません。
<input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり)	受け付けた画像に対して、自動補正を行います。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">参考</div> <ul style="list-style-type: none"> プリント指示をしている端末の設定によっては、補正されない場合があります。

2.1.7 オーダーコントローラーでも価格シートプリントを出力できるようになりました。

オーダーコントローラーで処理を行った場合にも価格シートプリントを出力できるようになりました。

出力するには、「機能・オプション登録」画面で「オーダーコントローラー」が (チェックあり) の状態で、「プライシングユニット」のタイプを「プリント」に設定します。

(例) 価格シートプリント



G081095V5

2.1.8 Rimage社製のCD/DVD書き込み装置を本製品に直接接続して使用するためのオプションソフトを対応しました。

Rimage社製のCD/DVD書き込み装置を本製品に直接接続して使用するためのConnection S/W for Rimage CD/DVD Publishing Systemsに対応しました。(オプション)

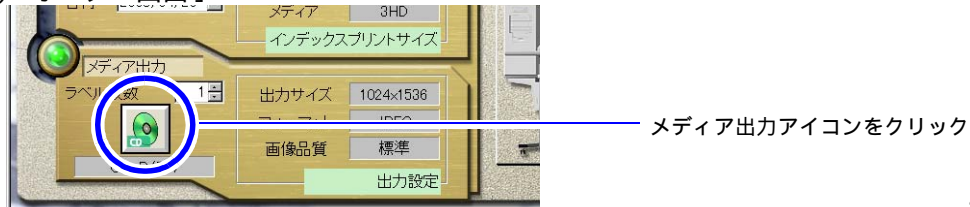
- 接続可能なCD/DVD書き込み装置
 - Rimage Producer III 7100N
 - Rimage 2000i

オプションソフト（Connection S/W for Rimage CD/DVD Publishing Systems）を使用すると、以下の内容が追加になります。
このオプションソフトは、QSS-Kidsにも対応しています。

「オーダー画面」画面

出力メディアアイコンの種類に、Rimageが追加になりました。

（例）「オーダー画面」



S0100-00-UM37V5

（例）「メディアコピー」画面



S0170-00-UM00V5

アイコンの種類	使用できる出力メディア
	<ul style="list-style-type: none"> Rimage

「FUNCTIONの機能」画面

「Rimageユーティリティ起動」ボタンをクリックすると、「Rimage ユーティリティー」画面が表示されます。Rimageが接続されている（「機能・オプション登録」画面で「Rimage CD/DVD Publishing Systems」を設定している）ときに表示されます。

（例）「FUNCTIONの機能」画面



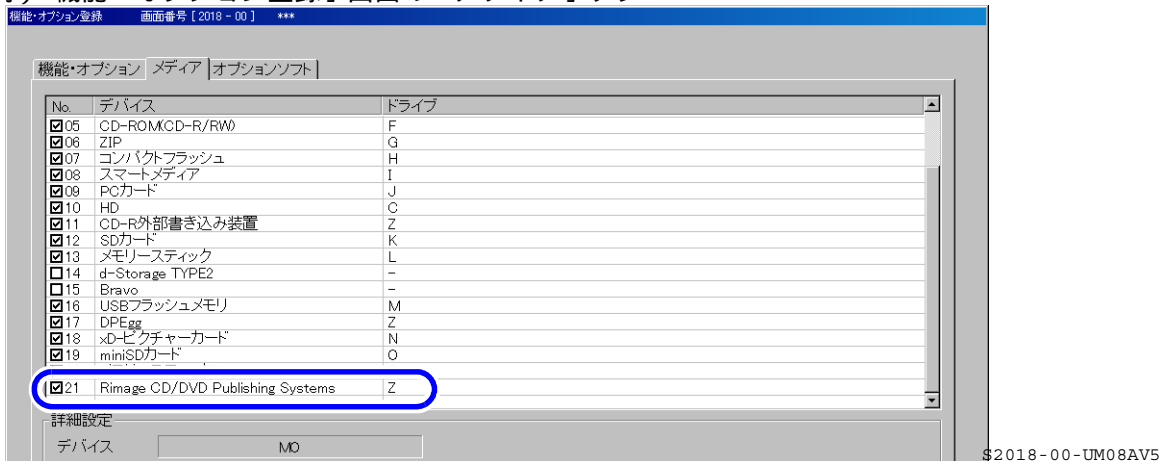
S0100-00-UM61AV5

「機能・オプション登録」画面の「メディア」タブ

画面の表示方法

「オーダー画面」で「F」ボタンをクリック “メニュー” “拡張メニュー” “機能・オプション登録”
「メディア」タブをクリック

(例)「機能・オプション登録」画面の「メディア」タブ



「Rimage CD/DVD Publishing Systems」が追加になりました。

この画面では、以下の制限事項があります。

- 「タイプ」の設定
変更することができません。
- 「追記書き込み」の設定
記憶メディアの保存容量が残っていても、追記書き込みはすることができません。
- 「CDタイプ」の設定
設定することができます。
 - ・ 設定内容については、「Connection S/W for Rimage CD/DVD Publishing Systems」の取扱説明書を参照ください。
- 「メディア容量」の設定
設定することができます。
- 「出力画像サイズ」の設定
「プリントイメージ」の設定をすることができます。

2.1.9 F仕様の「トータル補充量表示」画面で、「補充不足時間」の「クリア」ボタンが表示されないようになりました。

「補充不足時間」はクリアする必要がないため、ボタンを表示しないようにしました。

